

# 中部教育事務所管内の中学校実践事例

～3年音楽（創作）の授業実践を紹介します！～

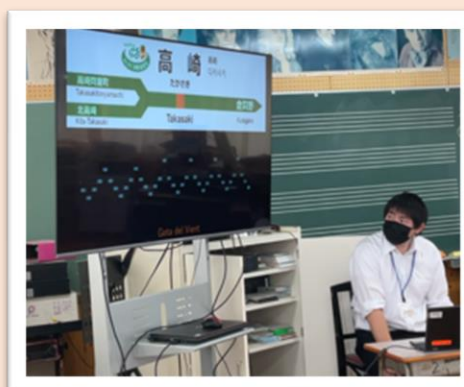
- 授業の見所**
- ①動画を活用して曲づくりの見直しをもたせ、主体的活動をアップ！！
  - ②音楽作成ソフトを使い、記譜等の難しさを解消！つくった曲もすぐに再生できる！！
  - ③モニターを活用して、曲づくりの工夫を全体で共有！

つかむ	追究する	まとめる
✓	✓	

題材名：オリジナルチャイムを作ろう（3時間計画の1時間目）  
ねらい：旋律、音色、速度と表したいイメージを結び付けながら、創作表現を創意工夫する。

## 【つかむ】①動画視聴：動画サイトの活用

曲をつくる際のポイントの一つである「旋律」について確認する際、動画サイトの動画を活用しました。導入で聴かせた高崎駅の発車メロディーに合わせて画面に音の動きが映し出されることで、生徒は旋律の動きを視覚的に捉えるとともに、表したいイメージと音楽を形づくっている要素との関わりに気付くことができました。



※YouTube  
「高崎線 発車メロディ」

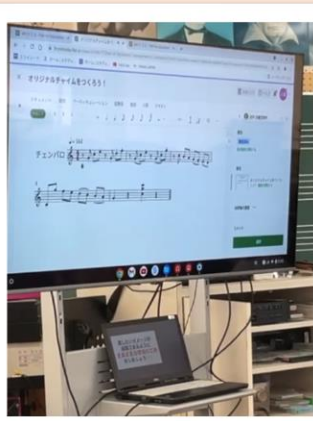
〈めあて〉表したいイメージが表現されたオリジナルチャイムをつくろう

## 【追究する】②音楽作成ソフトの活用



音楽作成ソフトは簡単に音を打ち込むことができ、音色、速度、音高、強弱など、音楽を構成する様々な要素を変えたり加えたりすることができます。また、打ち込んだ音をすぐに再生することができるため、生徒は自分のつくった曲を聴きながら試行錯誤する様子が多く見られました。

## 【追究する】③モニターの活用



表したいイメージを表現するために、どのような工夫がされているかな？

スタカートを使ったり、高い音で終わったりすることで弾む気持ちが表れていると思います。



二人の生徒の取り組み状況をモニターに映して、音を流しながら紹介しました。楽譜を見ながら友達の作品を聴くことで、表したいイメージを表現するための工夫を視覚からも捉えることができていました。

### 生徒の振り返り

- ・何を表したいかは、音の並べ方で変わることが分かった。
- ・音色によって曲の感じが変わった。
- ・楽器を変えたり、音の形を変えたり、テンポを変えたりするだけで、曲の雰囲気が全然違う。
- ・テンポやリズム、音符を変えるだけで、その場面に合った曲が作れる。

※生徒の作品  
「金曜日の下校チャイム」